

4周年のつみたてNISA、コツコツ投資で含み益に – 投信観測所

2022/01/25 12:00 日本経済新聞電子版 1162文字

つみたてNISA（積み立て型の少額投資非課税制度）は2018年1月に始動し、今年1月で4年が経過した。世界的な相場下落や回復局面もあった4年間だったが、毎月コツコツと積み立て投資を続けた人の運用成績はどうなっただろうか。

■ コツコツ投資の成果、投資対象別に調査

国内公募の追加型株式投信（上場投資信託＝ETFを除く）のうち、18年1月末時点でつみたてNISAに採用されていたファンドを対象に、運用成果を調べてみた。18年1月に積み立て投資をスタートし、21年11月までの47カ月にわたり、毎月月末の基準価格で買い続けた場合を21年12月末時点で評価した。

毎月の投資額は3万3333円で、年間の非課税枠40万円を上限利用したとする。投資元本の合計は約156万円で、21年12月末の評価損益を計算した。主な投資対象別に日本株、海外株・全世界株、バランス型の3グループに分類し、評価損益の上位と下位の各5本を表にまとめた。

■ 「海外株・全世界株」が成績好調

上位5本の含み益が多かったのは、海外株・全世界株で運用するグループ。首位は「iFree S&P500インデックス」で、含み益は100万円を超えた。元本の約156万円は1.6倍ほどに増えた。

複数の資産に分散投資するバランス型の首位は、「のむラップ・ファンド（積極型）」。「含み益は約53万円。国内外の株式と不動産投資信託（REIT）が多く組み入れられており、バランス型のなかでも積極的に運用を行うタイプ。それ以外の4本も50万円弱と、大きな差は出なかった。

日本株グループでは「コモンズ30ファンド」が、含み益約52万円で首位だった。3位まではアクティブ型（積極運用型）が占め、すべて含み益が50万円を超えたが、4～5位は日経平均株価に連動するインデックス型（指数連動型）で、含み益はどちらも43万円台だった。

■ 長期・積み立て・分散投資を忘れずに

4年間の積み立て投資について調べた今回の試算では、すべての対象ファンドの評価損益がプラスとなった。含み益が最も低かった「東京海上・円資産インデックスバランスファンド（愛称：つみたて円奏会）」でも2万円半ばの利益が出ており、元本割れのファンドはなかった。

つみたてNISAの非課税期間は最長20年。制度開始から4年経過した運用成績は好調だ。ただし、新型コロナウイルス感染拡大懸念から相場が大きく下落した局面など、途中で元本を割り込む場面も当然あった。積み立て投資は、相場下落時にも投資し続けることで、相場が回復・上昇した時に運用成果としてリターンを得られる。投資初心者は資産の上下に不安になることも多いだろうが、相場から退場せず投資し続ける「長期・積み立て・分散投資」で将来の資産づくりに取り組んでほしい。

（QUICK資産運用研究所 西本ゆき）

■ つみたてNISA 4年の含み益（主な投資対象別の上位・下位各5本）

投資対象	ファンド名称	運用会社（略称）	含み益（万円）	評価額（万円）	
日本株	上位	コモンズ30ファンド	3Eイン	52.80	209.46
	大和住友DC国内株式ファンド	三井住友DS	51.55	208.22	
	年金積立1グロース	日興	51.26	207.92	
	iFree 日経225インデックス	大和	43.36	200.02	
	<購入・換金手数料なし>ニッセイ日経平均インデックスファンド	ニッセイ	43.14	199.80	
下位	つみたて2101	鎌倉	10.62	167.29	
海外株・全世界株	上位	ニッセイ日本株ファンド	ニッセイ	31.61	188.28
	ひふみ投信	iFree 日経225	33.39	190.05	
	ひふみプラス	iFree 日経225	34.15	190.82	
	ニッセイTOPIXオープン	ニッセイ	34.59	191.25	
	下位	iFree S&P500インデックス	大和	100.47	257.13
バランス型	上位	米国株式インデックスファンド	アトミック	99.32	255.98
	楽天・全米株式インデックスファンド	楽天	97.99	254.65	
	農林中金くまのつみたてNISA米国株式 S&P500	農中金共進	97.84	254.51	
	アメリカ・米国優良株ファンド	21世紀	97.73	254.40	
	下位	たわらロード 新興国株式	7E2One	28.57	185.24
Smart-i 新興国株式インデックス	りそな	30.36	187.02		
三井住友DC新興国株式インデックスファンド	三井住友DS	30.46	187.13		
eMAXIS 新興国株式インデックス	三菱UFJ国際	31.11	187.78		
野村インデックスファンド・新興国株式	野村	31.84	188.51		
のむラップ・ファンド（積極型）	野村	53.66	210.33		
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	三菱UFJ国際	49.39	206.06		
eMAXIS マイマナー1990s	三菱UFJ国際	49.14	205.81		
たわらロード バランス（積極型）	7E2One	48.36	205.03		
SMT 世界経済インデックスオープン（株式シフト型）	三井住友TAM	47.16	203.83		
東京海上・円資産インデックスバランスファンド	東京海上	2.44	159.11		
下位	たわらロード 最適化バランス（保守型）	7E2One	2.75	159.42	
DCニッセイワールドセレクトファンド（安定型）	ニッセイ	8.63	165.30		
ニッセイインデックスリターン（国内・株式/リート/債券）	ニッセイ	9.86	166.52		
たわらロード バランス（堅実型）	7E2One	13.34	170.01		

※QUICK資産運用研究所調べ。データは2021年12月末時点。算出対象は18年1月末時点でつみたてNISA採用の国内公募追加型株式投資信託（ETF除く）、18年1月から積み立てをスタートし、21年11月まで毎月月末の基準価格で3万3333円ずつ積み立てた場合を21年12月末時点で評価。100円単位も含めてランキング。元本合計は約156万円。投資対象の区分はQUICK独自の分類。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.